



第16回 滋賀大会の見学風景 2009年6月

Seek & Share



ニュージーランドからの交換研修生
タクト㈱にて 2012年10月



国際理事会が日本で開催
見学風景 2012年10月

**植物生産の知識を
国際的に共有し
友好関係を深めましょう**



ニュージーランドからの交換研修生
2013年10月の大会にて

会員申し込み方法

次のいずれかでお申し込みください。

①インターネットのメールフォームによる 申し込み

<http://www.ippsjapan.org>
の会員申し込みページから送信

②郵送・FAXでの申し込み

「会員申し込みフォーム」または「国際植物增殖者会議（IPPS）日本支部会員申込書」に必要事項を記入の上、下記事務局宛に送付

注) 規約により、本会の入会には会員2名の推薦人が必要です。既知の現会員がない場合は理事が推薦人となりますので、お申し込みの前に事務局にご連絡ください。

会員区分および年会費

お申込みと同時に下記年会費をお振り込みください。お振り込み方法はお問い合わせください。

- ◆会員··· 11,000円
国際年報 (Proceedings) を購読しない会員。
- ◆会員BB··· 15,000円
国際年報 (Proceedings) をブラックブックで購読する会員。
- ◆会員CD··· 13,000円
国際年報 (Proceedings) をCDで購読する会員。
- ◆会計年度は1月1日～12月31日

国際植物増殖者会議日本支部

〒513-0801 三重県鈴鹿市神戸7-8-5 南出(株)内
IPPS日本支部事務・会計理事：南出幹生
TEL: 059-382-0040 FAX: 059-383-6526
E-mail: head@minamidekk.co.jp
<http://www.ippsjapan.org>

IPPS JAPAN

IPPS

Sharing Plant Production Knowledge Globally
Japan Region Since 1995

国際植物増殖者会議日本支部 入会のご案内

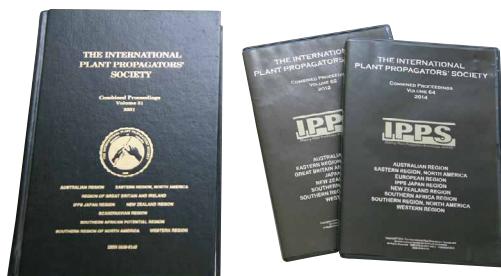


国際植物増殖者会議日本支部
<http://www.ippsjapan.org>

IPPSとは

International Plant Propagators' Society

- ◆1951年にアメリカで設立され、現在ではヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ東部、アメリカ西部、アメリカ南部、南アフリカ、日本の8支部で構成されています。
- ◆会員は生産者、園芸関連業者、研究者などの個人加盟による国際組織です。世界中で約1,600名が活動しています。日本支部は生産者や生産会社をはじめ、大学研究者、種苗会社、企業・研究所、試験研究機関、学生、公務員など、初心者からプロまで様々な方が友好を深めています。
- ◆毎年、すべての支部で発表された報告は一括して「Proceedings」(ハードバックの本、約700ページ) やCDに掲載されます。



「Proceedings」のブラックブックおよびCD

会員特典

①国内大会の案内が届きます

年1回開催され、研究発表や産地見学などを行います。国内会員と交流できる大変よい機会です。海外の大会にも参加できます。(講演要旨集が入手できます)



第19回静岡大会

②日本支部のニュースレターが届きます

国内会員を中心に寄稿していただき、年2回発行されます。投稿もできます。

③日本支部に入会すると、自動的に国際会議の会員になります

④IPPS国際ホームページの「会員専用」ページにアクセスできます

⑤世界の各支部の研究発表資料を入手できます

⑥海外の会員と自由に交流できます



2015年4月
ニュージーランド大会にて

会員からの声

私は大学で造園を学んでいます。IPPSにはひとえに植物分野といつても様々な専門の方があり、生産や育種から流通、管理にいたるまで多くのことを学ぶことができ、さらに、その機会は国内だけでなく世界にある支部でも得ることができます。広い視野で植物に接することができるようになりました。専門や国籍の垣根なく学べる貴重な場です。

(磯野 貴子、2015年入会)

私は、メリクロン苗生産をしています。花・野菜だけではなく、果樹や樹木、資材会社や大学・試験場の先生方、国際ツアーに参加したり研修生を受け入れたことで海外にも友人ができました。知見が広がるとても良い会です。

(水谷 朱美、1996年入会)

私は現在、ポットローズの生産に従事しておりますが、IPPSに入会して22年になります。この会を通じて、この業界に携わっておられる多くの皆さんと知り合いになれた事により、視野が広がり、また多くの情報が得られ自分の仕事にも多い生かされています。

(大西 隆、1994年入会)

私にとっては、IPPSのネットワークは大きなソフト、ハード両面の情報を得る有意義なものとなっています。植物分野の垣根を越えて学べるのはこの会だけかもしれません。狭く深くも限界があります。その限界に至った時に、さらに視野を広げることでより深い部分に入っていく、そんなチャンスを見つけられるのがIPPSだと思っています。

(大森 直樹、1994年入会)